

北総版 授業力向上のポイント



～授業の前に確認するはじめての一步～



授業力向上のために、ぜひ確認してほしい
ポイントです。日々の授業で活用してみましょう。

道徳科

チェックを
入れてみよう。

1 【導入】～問題意識をもたせる導入、教材の内容に興味や関心をもたせる導入～

○学習内容に児童生徒をひきつけましょう。～ なぜだろう？ 考えてみたい！ ～
<そのために>児童生徒にとって身近な場面や日常生活に基づいた問いを投げかけます。
教材や物語の一部を提示し、続きを考えさせる方法も考えられます。

2 【展開】～考え、議論する道徳～

○児童生徒が、多面的・多角的に考え、議論するためには、様々な視点や立場から物事を捉え、深く考える機会を提供することが重要です。

(1) 多面的・多角的に考え、議論するための流れ

- 「中心発問」を明確に設定します
 - ・児童生徒の実態を捉え、考え、議論する「発問」を提示します。
- 多様な視点を提供します
 - ・複数の立場や状況を提示し、児童生徒が様々な方向から考えられるようにします。
- 考えを出し合う、まとめる、比較するなどの目的に応じた話し合いを促します
 - ・ペアやグループでの意見交換を通じて、多様な意見や考えを共有できるようにします。

(2) 効果的な展開方法

- 問題解決的な学習
 - ・問題場面を自分に当てはめ、道徳的価値を自分との関わりで考えられるようにします。
- 体験的な学習（役割演技等）
 - ・児童生徒に特定の役割を割り当て、その立場になって考えられるようにします。
 - ・役割を交代し、両方の立場で多面的・多角的に考えられるようにします。
- 資料や事例の提示
 - ・実際の資料や事例を活用し、児童生徒がそれを基に考え、話し合えるようにします。

3 【終末】～自己を振り返り、生き方についての考えを深めることができる終末～

○表面的な感想に留まらないよう、深く考えられるようにすることが大切です。
<そのために>振り返りの視点を用意します。

「これまでの自分はどうか」「これからどうしたいか」「友達の意見から気付いたことは何か」「難しいと感じたことは何か」等

【参考資料】

文部科学省 「道徳教育アーカイブ～『特別の教科道徳』の全面実施～」

<https://doutoku.mext.go.jp/>

千葉県教育委員会 「千葉県版『道徳教育アーカイブ』」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/doutoku/doutoku-archive.html>



文部科学省



千葉県教育委員会